

# 新潟県女性センター情報

男女が共に参画し 多様な生き方が選択できる社会をめざして

## 令和3年 男女共同参画白書から

令和3年の男女共同参画白書が6月11日に公表されました。

今年の特集は「コロナ下で顕在化した男女共同参画の課題と未来」です。

新型コロナウイルス感染症の拡大を通じて、これまで見過ごされてきた配偶者暴力、ひとり親世帯、女性の貧困の問題など、日本の男女共同参画の遅れが明らかになっています。

### ◆ 女性の就業者数が大幅に減少

緊急事態宣言以降、就業者数が大幅に減少しました。女性の70万人減少に対して男性は39万人の減少と女性により大きな影響が出ています。

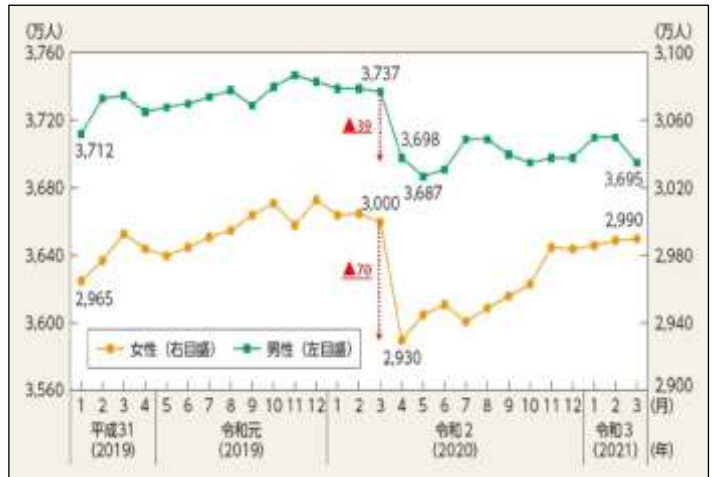
ステイホーム、在宅ワーク、学校休校などの影響が飲食、宿泊業などのサービス業、非正規労働者を直撃。女性により厳しい社会状況となっています。

### ◆ 仕事時間が減り、育児時間が増加

コロナ前と比べ男性の仕事時間が減少し、育児時間が増加しています。しかし、女性の育児時間はもっと増加。依然、女性が男性の約3倍近くの時間、家事・育児を担っています。

## 改めて「ジェンダー平等」を 考えるきっかけにしてみませんか

I-特-1 図 就業者数の推移



I-特-66 表 1日の時間の使い方

夫婦と子供から成る世帯 (有業者)(仕事のある1日)		令和2(2020)年度 調査	令和元(2019)年度 調査	時間の増減
仕事時間	女性	6時間42分	7時間18分	-36分
	男性	9時間09分	9時間34分	-25分
家事時間	女性	2時間29分	2時間31分	-2分
	男性	0時間50分	0時間49分	+1分
育児時間	女性	2時間13分	1時間43分	+30分
	男性	0時間55分	0時間31分	+24分

## 新理事長 ごあいさつ



理事長  
畠山 典子

このたび前任の阿部理事長から引継ぎ、新潟県女性財団の新しい理事長となりました畠山です。どうぞよろしくお願いいたします。

このほど世界経済フォーラムから発表された2021年のジェンダーギャップ指数では、日本の総合指数は世界156か国中120位。本当の「男女共同参画社会」への道のりはまだまだ遠いと改めて感じさせられました。また、新型コロナウイルスの感染拡大は、女性の雇用や生活に大きな影響を与えています。その背景には女性の経済的、社会的な格差の存在があると言われています。

女性にとっても男性にとっても性別にかかわらずその個性と能力を活かせる社会の実現が、改めて求められています。女性財団では、県や市町村、様々な団体・企業と連携しながら、男女共同参画社会に向けた様々な啓発活動や人材育成事業、さらには女性の就業支援や企業における女性活躍支援などにも取り組んでいきたいと考えています。

もとより微力ではありますが、新潟県の男女共同参画社会のため努力してまいりますので、皆様からの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス

開催しました！ <sup>ひと</sup> <sup>ひと</sup> にいがた女と男フェスティバル 2021  
基調講演「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を越えて」

6月19日（土）から27日（日）に、新潟ユニゾンプラザにて「にいがた女と男フェスティバル 2021」を開催。基調講演と新潟県内で活動する20団体によるワークショップが行われました。

◆ 26日の基調講演会では、昭和女子大学理事長・総長の坂東真理子さんをお迎えし、『アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）を越えて』と題してお話していただきました。

冒頭、アンコンシャス・バイアスの事例として、最近話題となった東京五輪・パラリンピック組織委員会会長の発言を紹介。私たちが知らないうちに思い込んでしまっているモノの見方や考え方が無意識の偏見であり、女性の適性に対するアンコンシャス・バイアスは、男性だけでなく女性自身にもあると説明。新型コロナウイルスによって生活が変わり、新しい時代に対応するためには、女性自身も「女だから無理」「どうせ女だから」という、自分の無意識の偏見に気づき、自覚することが大事とお話されました。

◆ 参加者からは、「アンコンシャス・バイアスが、まだまだ自分の中にあることがわかった」「女性自身がアンコンシャス・バイアスに気づくということが印象に残った」「性別に関わりなく、ひとりの人間として成長し、自分が変わり周りが変わり、そして社会の変化につなげたいと思った」などの感想が寄せられました。

◆ 今回は、会場参加の他にオンライン（Zoom ウェビナー）も行い、新潟県内外より多くの方にご参加いただきました。当日は20～90代と幅広い、約270人の方々に参加していただきました。ありがとうございました。



会場では、手話通訳・要約筆記も行いました



感染症対策を整えて開催しました



【初チャレンジ！  
パブリックビューイング in 糸魚川】

糸魚川市では、市役所を会場に基調講演会の、パブリックビューイングを開催。当日は14名の方にご参加いただきました。遠隔地からもリモートで気軽に参加できてよかったという感想も頂戴しました。

※ オンライン配信やパブリックビューイングは、幅広い県民のみなさんに「男女共同参画」を伝えるひとつの方法だと感じました。来年度のフェスティバル講演会でも、各市町村のご希望により対応したいと考えています。



ワークショップも盛況でした

## 男女共同参画 取り組み

**新潟県立図書館へ行ってみよう！**

県立図書館では、新潟県の取り組みを紹介する「連携展示コーナー」を新設しました。6月は、「男女共同参画週間」に関する展示を、6月15日から7月5日まで開催。県立図書館には、フェスティバル講演会の講師、坂東真理子さんの著書をはじめ、女性の働き方や家事・育児の分担といった男女共同参画に関する図書も多く所蔵されています。

ぜひ、色んなテーマの本を手に取り、男女共同参画社会について考えてみませんか？



連携展示コーナーの様子

## セミナーのご案内

※お申込みは、当財団ホームページ「お申込みフォーム」から

人材育成セミナー  
オンライン開催**表現力ワークショップ 相手に響くように伝える**

内気な人も初心者も安心して参加でき、  
一生ものの表現力の基礎が身につく内容です。  
・コミュニケーションが通じる7つの要件をつかむ  
・考える方法を身につける ・相手に伝わる文章を書く  
定員：20人 【参加費：5,000円】

8月1日(日) 10:00~16:00

講師 山田 ズーニーさん

(文章表現・コミュニケーションインストラクター/作家)

人材育成セミナー  
オンライン開催**オンライン時代のファシリテーション**

コロナ禍でオンラインを活用した会議等が増えてきました。  
・これまでのオンラインの場を振り返る・ファシリテーションとは  
・“オンライン”という場の特徴 ・オンラインの場づくりのコツ  
・オンライン上の対話の場を体感する ・これからのオンラインの場づくりに向けて  
定員：16人 【参加費：5,000円】

8月21日(土) 10:00~16:00

講師 加留部 貴行さん

(NPO 法人日本ファシリテーション協会フェロー)

女性センター講座  
オンライン・視聴会場開催**～政治分野の男女共同参画を考える～ジェンダー平等と政治**

女性の政治参画について、現状と課題をお話いただきます。  
定員：オンライン30人、視聴会場20人 【無料】  
視聴場所：ご自宅または新潟県女性センター-女性団体交流室2  
※お申込み時に、視聴場所をご記入ください。

8月29日(日) 14:00~16:00

講師 岡野 八代さん

(政治学者・同志社大学教授)

**経営・売上のお悩みを解決！****わたしの強みを生かしたビジネスカ アップセミナー**

起業の基本、ステップアップするためのヒントについて、  
楽しく、分かりやすくお話いただきます。  
定員：起業した(起業したい)女性 20人 【無料】  
会場：新潟県女性センター-女性団体交流室2

※マスク着用・手指消毒をお願いします。

※感染状況によりオンライン開催へ変更する場合があります。

起業した(起業したい)女性のための交流会  
リアル開催

9月11日(土) 13:30~16:30

講師 南さん

(グローバルマーケティング(株)コンサルティング部  
副部長/シニアコンサルタント)

※オンラインセミナー参加方法について、お気軽にご相談ください。はじめての人のためのオンライン体験会も開催しています。



## 会員情報

一般社団法人 新潟県母子寡婦福祉連合会  
新潟県・新潟市ひとり親家庭等就業・自立支援センター

当連合会は、県内の各市町村の母子会の活動を支援し、ひとり親家庭及び寡婦の生活の安定と福祉の向上を目的とした団体です。

また、新潟県から受託しているひとり親家庭等生活向上（情報交換）事業やひとり親家庭等就業・自立支援センター事業を通じて、情報交換や交流の場の提供と生活・就業相談、養育費相談の実施など様々な角度からの支援に取り組んでおります。

コロナ禍の中、昨年度はフードバンクはじめ多くの方にご協力いただき「食」の支援を行いました。



ひとり親家庭等生活向上（情報交換）事業

今年度は「職業」の支援に力を入れ、「ひとり親ジョブマッチにいがた」という企業とひとり親家庭のお仕事マッチングサポートを開始しました。

子どもを一人で育てながら仕事と子育てを両立させることは、決して簡単なことではありませんが、皆さんが「笑顔」で生き生きと歩めるように、これからも寄り添って参ります。



女性財団  
情報コーナー  
でも配布  
しています

<お問い合わせ先>

〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ 3階

TEL: 025-281-5546 / FAX: 025-281-5547

E-Mail: info@niigatakenboren.jp

URL: <https://niigatakenboren.jp>

HP QRコード



### 新潟県男女平等社会推進課からのお知らせ 政治分野における男女共同参画について

「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律の一部を改正する法律」が、令和3年6月16日に施行されました。

政治分野への女性の参画は徐々に進められているものの、諸外国と比べると大きく遅れています。令和3年1月1日時点の国会議員（衆議院議員）に占める女性の割合は9.9%で、世界193か国中166位となっており、男女を問わず立候補や議員活動等しやすい環境整備などが必要です。

こうした背景から、今回の法律改正では、政党等がより積極的な取組を行うこととなるよう促進するとともに、国及び地方公共団体の施策を強化することなどを明記した内容となっています。

詳しくは、内閣府男女共同参画局のホームページを御覧ください。

<https://www.gender.go.jp/policy/seijibunya/index.html>



編集・発行

公益財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所 2-2-2  
新潟ユニゾンプラザ 2階/新潟県女性センター



HP



FB



twitter

●電話 025-285-6610

●fax 025-285-6630

●メール npwf@npwf.jp

●ホームページ <https://npwf.jp>

●Facebook 新潟県女性財団

●twitter @npwfniigata

【編集後記】 センター情報は、年4回発行で、編集会議の後、1か月ほどの期間で編集作業をします。今年度は、セミナーなども早めに掲載できるよう取り組んでいます。見返した時、参加したいセミナー情報があるかもしれません。

お手元に残しておくことをオススメします。次号は11月発行です。(む)